

タイトル	冬山登山・バックカントリースキーに伴う遭難防止への注意喚起について								
配付資料	後志総合振興局長コメント								
内容 (目的・趣旨)	<p>○ 後志管内では、毎年冬山登山・バックカントリースキーに伴う遭難事案が多発し、その中には死者や未発見の行方不明者も発生しており、昨年度においても死亡事案が4件ありました。</p> <p>○ 本格的なシーズンが始まる前に、別添のとおり、冬山登山・バックカントリースキーに伴う遭難防止への注意喚起を発出することとしましたので、周知等に御協力をお願いします。</p> <p>※当振興局による啓発活動について 遭難が多く発生する地域において、振興局及び関係機関による啓発活動を予定していますので、別途報道発表します。</p>								
参考	<p>○ 令和4年度の後志管内における冬山登山・バックカントリースキーによる遭難発生状況 5件（5名） ※遭難者の8割が札幌近郊及び外国人旅行者。 ※上記は後志総合振興局での把握分</p>								
報道解禁	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<table border="1"> <tr> <td>テレビ・ラジオ・インターネット</td> <td>月 日 ( )</td> <td>時以降</td> </tr> <tr> <td>新聞</td> <td>月 日 ( )</td> <td>刊以降</td> </tr> </table>	テレビ・ラジオ・インターネット	月 日 ( )	時以降	新聞	月 日 ( )	刊以降	
テレビ・ラジオ・インターネット	月 日 ( )	時以降							
新聞	月 日 ( )	刊以降							
報道（取材）に 当たってのお願い	○ 冬山登山・バックカントリースキーに伴う遭難による人身被害を防止するため、積極的な報道に御協力をお願いします。								
他のクラブとの 同時発表	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり								
担当窓口	後志総合振興局地域創生部危機対策室主幹 担当：横山（よこやま） 〒044-8588 虻田郡倶知安町北1条東2丁目 北海道後志合同庁舎 TEL：0136-23-1418 (ダイヤルイン) / 内線 6-350-2151 FAX：0136-22-0948								

# 冬山登山・バックカントリースキーに伴う遭難防止への注意喚起について

(北海道後志総合振興局長コメント)

## ○冬山登山・バックカントリースキーによる事故に注意しましょう！

後志管内では、ニセコアンヌプリ等に所在するスキー場のほか、羊蹄山をはじめとする冬山でウィンタースポーツが楽しまれている一方、冬山登山やバックカントリースキーでの遭難や雪崩により、多数にのぼる人員が長時間に渡る捜索を行っても発見に至らない場合や亡くなられる方もいます。

昨年度の遭難事案においては、羊蹄山でバックカントリースキー中の外国人1名が雪崩に巻き込まれて死亡したほか、赤井川のスキー場において、コース外滑走中での雪崩による死亡事故が発生するなど冬山での被害事案が後を絶たない状況となっております。

冬山登山・バックカントリースキーに行かれる際には、「自分は遭難することはないだろう。」「行き慣れているから大丈夫。」などと考えず、皆様一人一人が十分な準備と慎重な行動を心がけてください。

## 《冬山登山・バックカントリースキーの入山の際には次のことに気をつけてください！》

- 1 天候・雪崩状況の確認  
(最新の気象状況、注意報・警報は出ていないか確認をお願いします。)
- 2 地形・ルートの確認  
(ご自身の体力・技術に見合ったルートの選択をお願いします。)
- 3 冬山装備で入山  
(冬山三種の神器(ビーコン、プローブ、スコップ)、悪天候の条件下でも耐えられる装備と食料、GPSや携帯電話等の通信機器、予備電池等の準備は十分か。)
- 4 登山計画書の提出  
(単独行動は行わない、登山計画に無理はないか。)
- 5 撤退する勇氣  
(悪天候や視界不良時に撤退する覚悟、万が一の遭難時の命を守る行動を知っているか。)

令和5年12月1日

北海道後志総合振興局長 猪口 浩司